

第12回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会 札幌総会・全国交流会議事録

全国交流会議事録目次

札幌楽団員によるウェルカムコンサート

-----	札幌コンサートマスター	大平まゆみ様
-----	札幌ヴィオラ奏者	鈴木 勇人様
-----	札幌チェロ奏者	小野木 遼様

開会宣言	-----	司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長）
主催者あいさつ	-----	上田 文雄（JOF C会長兼札幌くらぶ会長）
来賓あいさつ	-----	札幌市長 秋元 克広様（胆振東部地震対応のため欠席） （前田真子（札幌市市民文化局文化部長）がメッセージを代読）
	-----	札幌交響楽団理事長 村田 正敏様
開宴（乾杯）	-----	村田 正敏様（札幌交響楽団理事長）
テーブルスピーチ	-----	マティアス・バーメルト（札幌首席指揮者）
	-----	鳥居和比徒様（札幌交響楽団専務理事）
	-----	長島 栄一（仙台フィルハーモニークラブ会長）
	-----	篠原 敏修（都響倶楽部代表）
参加クラブ紹介	-----	仙台フィルハーモニークラブ
	-----	山響ファンクラブ
	-----	群響ファンズ（群響を応援する県民の会）
	-----	都響倶楽部
	-----	石川県立音楽堂楽友会
	-----	名フィル・ファンクラブ
	-----	広響フレンズ
	-----	九響倶楽部（欠席）
	-----	NPO法人オーケストラ創造（熊本・欠席）

閉宴・記念撮影

ウェルカムコンサート

- 司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） 札幌メンバーによるウェルカムコンサートです。皆さま大きな拍手でお迎えください。
曲目は、モーツァルト作曲 弦楽三重奏のためのディヴェルティメント変ホ長調K. 563より3曲お送りします。
- 大平まゆみ（札幌コンサートマスター） 大平さんのスピーチ、楽曲の紹介、メンバーの紹介（聞き取り不可）
- 小野木亮（札幌チェロ奏者） （聞き取り不可）
（演奏）
- 大平まゆみ（札幌コンサートマスター） アンコール曲の紹介（聞き取り不可）

JOFC in 札幌2018全国交流会



開会宣言

- 司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） ありがとうございます。
お三方には、後ほどこちらに戻っていただいて一緒に交流会に参加していただきます。
すてきな演奏で幕を開けました。
改めまして、JOFC札幌2018全国交流会を開催いたします。
はじめに、JOFC会長で、札幌くらぶ会長の上田文雄より、挨拶を申し上げます。（拍手）

主催者あいさつ

- 上田文雄（札幌くらぶ会長） 上田でございます。こんばんは。



改めて、札幌で、このJOFC2018年交流会を開きまして、全国からオーケストラを愛する、音楽を愛する皆様方にお集まりいただきましたことを心から歓迎を申し上げ、そして日頃の皆様方の活動に心からの敬意と感謝を申し上げます、このように思います。本当によろしくお出でいただきました、歓迎申し上げます。（拍手）

そして、私の札幌いかがでしたでしょうか。（拍手）

私の札幌です。

皆様方と一緒に聴きすること、聴いていただけることをこの上なく光栄に、そしてうれしく思います。

皆様方も、多分音楽が好きだというだけではなく、1人で聴くより、演奏家とともに音楽を楽しみたい、もっと言えば共感をしたい、友達と、知り合いと一緒に聴くことによっ

て喜びを倍加したい、そんな思いで活動されているのだというふうに思います。

その思いを、こうして毎年、会員集まる、こういう集会・交流会で思いをつけあいながらオーケストラのために、私のオーケストラのために力を一層、そんな思いでこの集会に参加されていることと思います。

今日は、札幌の理事長をはじめ、専務理事さん、札幌市、それぞれから御参加をいただきまして、そして何よりも昨日、今日と612回の定期演奏会、お疲れのところ私どもの誇りとする首席指揮者でございますバーメルトさん（拍手）、お疲れのところ、ようこそ御参加いただきましてありがとうございます。心から感謝申し上げたいと思います。

私たちの音楽に対する関心というものをもっともっと深く、そしてすばらしい感性を私たちにお示しいただいて、私たち自身も勉強し、そして札幌の楽員も学習をし、すばらしい、すばらしい音楽文化がこの町に広がっていくことを心から期待をしたいと、このように思います。

堅い話をこの辺にさせていただきます、皆様方、ぜひ札幌での一日を、明日はまたとてもいい天気になるそうです。気象庁に言っておきましたので、そうなると思います。

大通り公園では、「オータムフェスト」が11年目になりますけれども、すばらしいお祭りが行われております。ぜひ、北海道の美味しいものをたくさん召し上がって、お戻りいただきたいと、このように思います。

それでは、御挨拶はこの辺にさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

来賓あいさつ

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） それでは、お客様を代表してお二方に御挨拶をいただきます。

まず、札幌市長秋元克広様ですが、出席の予定でしたが、このたびの胆振東部地震のためにやむを得ず、本日欠席となりました。

代わりまして、札幌市文化部長の前田真子様にお話をさせていただきます。

よろしくお願いたします。（拍手）

○前田真子（札幌市市民文化局文化部長） まずは、本日のJOF Cの交流会にお招きをいただきまして、本当にありがとうございます。



すっかり仕事を忘れまして、今、ユーモレスクの曲を聴いていましたら、涙が浮かんでまいりまして、何か、何も心配のなかった小さな頃を思い出すような、すばらしい演奏で……済みません。

今、紹介がありましたが、本来であれば札幌市長の秋元が何においても御挨拶に伺うべきところですが、残念ながら震災の対応等の不幸も重なってしまいまして本当に失礼を申し上げます。代わりに今日はメッセージを預かってまいりましたので、代読をさせていただきます。

札幌市長の秋元克広でございます。本日は、お招きをいただきましたが出席はかなわず、まことに申し訳ございません。

日本プロオーケストラファンクラブ協議会の第12回総会が6年ぶりに札幌で開催され

ますことを、心からお喜び申し上げます。

また、全国各地からお越しにいたっている皆様、ようこそ札幌にお出でくださいました。皆様御承知と思いますが、今月6日未明、北海道で最大震度7の大地震とともに、大規模停電が発生し、札幌市内でも甚大な被害が発生いたしました。

まずはじめに、被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、全国からお見舞いや激励のお言葉等多数頂戴いたしましたことに、この場をかりて御礼申し上げます。

札幌市では、被災者への支援を初め、復旧・復興に向けた取り組みを引き続き全力で進めてまいりますので、変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

早速ではございますが、会員団体の皆様におかれましては、日頃より地域のプロオーケストラの振興のため、精力的に活動を展開されているとともに、地域のまちづくりにも熱心に取り組まれておりますことに、深く敬意を表します。

また、札幌響くらの皆様におかれましては、北海道唯一のプロオーケストラであり、札幌市民の財産である札幌交響楽団へ大きな愛情を注がれ、さまざまな御支援を手がけられているほか、中学生を札幌交響楽団コンサートへ招待する事業の実施など、札幌の文化振興にお力添えをいただいておりますことを改めて厚く御礼申し上げます。

札幌交響楽団は、1961年の結成以来、半世紀以上にわたり私たちの心に響くすばらしい演奏を届けていただいております。札幌市民にとってかけがえのない存在になっております。札幌市は、この半世紀で都市基盤が整備されるとともに、196万人の人口を有する日本有数の大都市へと発展してまいりましたが、市民が生き生きと暮らしていくためには生活の潤いや心の豊かさをもたらす、文化芸術の存在が不可欠であります。

札幌市では、文化芸術の持つ力を生かし、市民一人一人の創造的な活動をまちの魅力へとつなげていくため、さまざまな取り組みを行ってきたところですが、来月7日には北海道発の多面舞台を備え、最高の舞台芸術を最上の環境で堪能できる、札幌芸術文化劇場、愛称*hitaru*などから構成される札幌市に交流プラザが市内中心部にオープンいたします。この施設が、札幌市民を初め、多くの方々から親しまれるとともに、この舞台から新たな文化芸術が世界に向けて発信されることを大いに期待しているところでございます。

最後になりますが、札幌の町は秋の装いとなり、とても過ごしやすい季節になってまいりました。この機会に、札幌の魅力存分に満喫していただき、幾度となく札幌に足をお運びいただけますことを心より願っております。

本日、会場にお集まりの皆様の今後ますますの御活躍を心から祈念いたしまして、歓迎の御挨拶とさせていただきます。

本日の御盛会まことにおめでとうでございます。

平成30年9月22日、札幌市長秋元克広。(拍手)

どうもありがとうございます。

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) ありがとうございます。

今、先ほど演奏された方々がいらっしゃいました。拍手でお迎えください。(拍手)

それでは、続きまして、札幌交響楽団理事長村田正敏様より、御挨拶をいただきたいと思っております。

よろしく願いいたします。(拍手)

○村田正敏(札幌交響楽団理事長) 札幌交響楽団の理事長を8年間続けております、



北海道新聞社の村田と申します、皆さん、本当によろしくお出でいただきました。

心から歓迎を申し上げますとともに、皆さん方が日頃、地域で熱い情熱を持ってプロオーケストラを支えていることに対して心から敬意を表したいと思えます。

また、今、市長のメッセージにもございましたように、この6日には北海道でとても大きな地震がありまして41の方が亡くなりました。今日は、それから16日目でございます。

皆さん方から多大な御心配をいただいたり、あるいは励ましをいただいたということについては、道民の一人として感謝を申し上げたいと思えます。

今日、皆さんにおかれましては、札幌の定期をお聴きいただいたわけですが、私は、昨日聴いたのですけれども、ある種の感動と驚きがございました。それは、今回の定期の曲がまさに衝撃的でございました。バーメルトさんが来ていただきました。細川俊夫さんの演奏、「3月11日の津波の犠牲者に捧げる」とあるのですけれども、その後、ドブュッシーを挟んでフォーレのレクイエムでございました。

これは今年の4月からバーメルトさんは札幌の指揮者をお願いしているのですけれども、去年の段階でこの曲を既にお決めになっていたというのです。その驚きでございます。

私は、今回、たまたまこういう演奏になったわけですが、昨日、今日のこの定期演奏会の演奏というのは、41人の犠牲者の方に対する追悼であり、やはり我々の気持ちの発露であったのだというふうに思いたいと思っております。

その意味で、大変ありがたいと言えばありがたい曲を聴かせていただいたのだというふうに私自身は思っていて、ある種の感動がございます。

さて、オーケストラを維持していくということは並大抵なことではございません。国、あるいは自治体、企業、さまざまな方の御支援をいただいて運営するわけですが、その根底をなすのはやはりファンの皆さんの支えなのです。札幌には、最初に御挨拶をいただきました札幌くらぶという、とてもとても楽しい後援組織がございます。そうした方々がいなければ、とてもでないけれども、なかなか維持運営することはできないという実感を持っております。

ご存じのように、私ども札幌も一度、破綻の縁に立ったことがございます。それ以来、私どもとしては運営を極めて慎重のうえにも慎重に進めているわけですが、やはり札幌というのは、北海道にとっての宝なのです。皆さん方、それぞれの地域にあるオーケストラもそうなのでしょうけれども、私はこの宝を決してなくさないように、より光り輝くように努めたいと思うのですけれども、その最初の作業はやはり継続していくことだというふうに思いながら作業をしているわけですが、

何度も繰り返しますが、地域のオーケストラを支えていくことは総力作業です。総力作業で、そのためのノウハウをみんなで共有しながら、高めながら全国のオーケストラをより高いところに控えるような活動が行われればいいなというふうにつくづく思っております。

札幌の指揮を長いこと担っていただきました尾高忠明さんは、よくおっしゃってしまし

た。音楽は心のビタミンであるということをおっしゃっていました。私たちは、このビタミンをできるだけ質のいいものにして、それを多くの人に届けたいというふうに思っております。そのために、どうしたらそのオーケストラを好きな人の裾を広げることができるかというのが、私たちにとっては最大の課題でございます。

今日、この交流会を通じて全国でさまざまな活動をされている方が、こうしたら1人でもファンが増えた、こうしたら音楽が好きな人が広がったといったことが経験お持ちだと思いますので、そうしたことを語り合うような機会にいただければ、私としては、もうこれ以上の喜びはございません。

今日のこうした会で、全国のつながりができますものですから、また皆様方の御協力をいただきながら、私ども札幌も全力で頑張っていきたいというふうに思っております。

先ほど上田会長、私たちにとっては上田前市長と言ったほうがいいわけですがけれども、「私の札幌」と言いましたね。これを正確に言うと、私の札幌なのです。ただ、ファンクラブを支える方は「私の札幌」と言ってくれる、この情熱が、やはりこのクラブを支え、オーケストラを支えることだと思っております。

最後にもう1回ヨイショするつもりで言いますけれども、上田前市長のそうした「私の札幌」と言ってくれる情熱を大切にしながら、これからも活動していますので皆様の御指導をよろしくお願いしたいと思います。

本日は、まことにありがとうございました。(拍手)

開宴（乾杯）

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） 村田様には、この後、乾杯の御発声をお願いしておりますので、皆様、乾杯の御用意、お願いいたします。

御準備よろしいでしょうか。

それでは、御起立お願いいたします。

○村田正敏（札幌交響楽団理事長） それでは、乾杯をさせていただきます。

先ほど見事な演奏を聴かせていただきました3人の皆さんありがとうございました。

コンサートマスターの大平さんは本を書かれております。タイトルは「100歳まで弾くからね!」、私どもまだ100歳までかなり年がございますので、まだ活躍をお願いしたいと思います。

それでは、皆様方の御健勝と地域のオーケストラのますますの御繁栄を祈念して、グラスを挙げさせていただきたいと思っております。御唱和ください。

乾杯。

(乾杯)

○村田正敏（札幌交響楽団理事長） ありがとうございます。

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） 村田様ありがとうございました。

御着席ください。

(しばらく歓談)

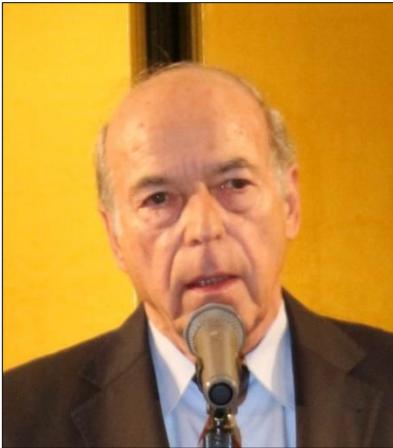
テーブルスピーチ

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） それでは、テーブルスピーチをお願いしたいと思います。

札幌交響楽団首席指揮者 マティアス・バーメルト様、よろしくお願いします。

なお、通訳を札幌交響楽団総務営業部長 庄司寿子様が行います。

○マティアス・バーメルト（札幌交響楽団首席指揮者） 皆様こんばんは。



ご紹介いただきましたマティアス・バーメルトです。

今年4月から札幌交響楽団の指揮を執っております。

札幌へ、そして素晴らしい札幌交響楽団へようこそおいでくださいました。今日のコンサートにみなさまをお迎えできることを心から嬉しく思っております。

時折、私は指揮者よりも美術館の館長になった方がよかったのではないかと思うときがあります。朝、美術館を開ける、お客様が入ってこられて、芸術作品を堪能する、そして夕方になると、私はドアを閉める。穏やかな日でしょう。音楽では同じようにはなりません。音楽は演奏されること、生で演

奏されることが必要なのです。

音楽が演奏されなくなる、それは死と一緒に、存在すらなくなるということなのです。

音楽に命を与えるには、演奏家、オーケストラ、独奏者、指揮者が必要です。

オーケストラはとても複雑でお金のかかる組織です。皆様のようなファン、支援者、聴講者、友人、お客様をたくさん必要としています。私達はすべての方への音楽を作りたいと思います。演奏する街の文化的な財産になりたいと思っています。私達だけではそこまでできません。

でもみなさんがファンとして、友人としてお力を貸してくださるのなら、できます。すべての音楽家、オーケストラに代わって、みなさまのご支援に対し心から感謝申し上げます。

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） それでは、テーブルスピーチ、もう一方お願いしたいと思います。

札幌交響楽団専務理事 鳥居和比徒様、よろしくお願いします。

○鳥居和比徒（札幌交響楽団専務理事） 御紹介いただきました、札幌交響楽団鳥居と申します。

札幌へようこそお出でいただきました。

今日、札幌の定期演奏会をお聴きいただきましてありがとうございます。

プロオーケストラファンクラブの皆さんが一堂に集まって情報交換をするというのは、非常に意義のあることだと思います。その上で、私は2点お願いしたいとことがあります。

1点は、よく聞くのですけれども、楽員は演奏を聴いてもらおうと、とてもうれしいというふうに言っております。ですので、地元に戻られたらぜひとも頻繁に演奏会に足を運んで



いただきたいと思います。そうしたオーケストラの演奏に対して、ぜひ拍手を送っていただければと思います。

そういうことを来れなかったファンクラブの仲間の方たちにもお伝えいただきたいと思います。

もう1点ですけれども、先ほどからお話が出ています今回の地震で札幌も甚大な被害を受けました。それでもなお、札幌は元気です。これも、皆さんが地元に戻ったらお伝えしていただきたいと思いますけれども、札幌は元気ですので、皆さん札幌に足をお運びください。そして、タイミングが合えば札幌の演奏会にも足を運んでいただければと思います。

簡単ですけれども、これで私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) 鳥居様、ありがとうございました。

(しばし歓談)

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) では、テーブルスピーチ、次回開催時の仙台フィルハーモニークラブの長島様、よろしくお願いいたします。(拍手)

○長島栄一(仙台フィルハーモニークラブ会長) どうも皆様、こんばんは。



今日は、コンサートで最初の曲、3. 1 1を演奏していただきましてありがとうございます。私も今日は大変感動いたしました。

それから私ども仙台でこの総会を開催するというので、来年、フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会のある11月23日に開催させていただきます。

なお、私どもファンクラブ会員約100名ほどでございますけれども、私どもの身の丈に合った形で皆様をお迎えしたいということですので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、11月23日は定期は何をやるのかと、実は発表されておらずそれで事務局のほうに聞いたら、曲があるのだと、ただ、指揮は高関健さん、それは入れていいよということでございました。

ぜひ、群響の方、理屈抜きでございましたので、今回の3名よりは多く来ていただきたいというふうに思っております。

会員の手作りではございますがお待ちしておりますので、どうぞ皆様の御来場お待ちしております。(拍手)

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) 長島さん、ありがとうございました。

高関様は札幌の指揮者でもありますので、楽しみにしています。

それでは、続きまして、来年3月17日の都響倶楽部の交流会を企画しました、都響倶楽部の篠原様、よろしくお願いいたします。

○篠原敏修(都響倶楽部代表) 都響倶楽部の篠原でございます。

御案内しておりますとおり、来年3月17日、日曜日ですけれども、東京都交響楽団の都響スペシャルということでエリアフ・インバルが指揮します。そのコンサートプラス交



交流会ということ企画をしております。

申し込みを一応、先にした結果が31名の会員クラブの方々が参加するということになっておりますが、先ほど既に3名の申し込みがありました。

チケットは昨日、一般発売をされたばかりですので、まだ間に合いますので、ぜひ皆さんもお出でいただいて、交流会でまた親睦を深めていただければと思いますので、ぜひ機会ある方は参加してください。たくさんの方が参加されることを期待しておりますので、よろしく願いたします。(拍手)

参加クラブ紹介

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) 篠原様ありがとうございました。皆さん、東京に集まりましょう。

それでは、本日、出席のファンクラブの皆さんを御紹介したいと思います。

今回はステージではなくて、その場で立っていただいて、それぞれのファンクラブの皆さんの顔をごらんいただきたいと思います。

それでは、名前を呼ばれましたら、その場にお立ちください。

まず、仙台フィルハーモニークラブの皆さんです。

仙台フィルハーモニークラブが一番人数が多く8名の御出席です。ありがとうございます。(拍手)

済みません、今回はステージなしなのでごめんなさい。

では、続きまして、山響ファンクラブの皆さんです。(拍手)

3名の皆様ありがとうございます。

続きまして、群響ファンの皆さんです。(拍手)

○小野善平(群響ファンズ会長) 先ほど長島さんから、何で群響は交流会に参加しないのと言われましたが、群響は、明日は定期演奏会で演奏、合唱のステージに立つため参加できなくなりました。申し訳ございません。(拍手)

○司会(定政みち子札幌くらぶ事務局次長) ありがとうございます。

続きまして、都響クラブの皆さんです。

都響倶楽部の方、2名です。都響倶楽部です。(拍手)

続きまして、石川県立音楽堂楽友会の皆様です。(拍手)

続きまして、名フィル・ファンクラブの皆さんです。(拍手)

続きまして、広響フレンズの皆さんです。(拍手)

続きまして、我が札幌くらぶのメンバーです。(拍手)

ありがとうございます。

ほかに、九響倶楽部ですが、残念ながら定期公演と重なりましたために、今日は欠席です。また、熊本のオーケストラ創造の方も、九響定期に出演のため欠席となっております。

(しばし歓談)

閉宴・記念撮影

○司会（定政みち子札幌くらぶ事務局次長） 皆様、ホテルの御厚意でちょっと時間を延ばしていただきましたが、残念ながら時間となってしまいました。9時を過ぎておりますので、最後の締めをしたいと思います。

それでは、閉会の言葉を、札幌総会実行委員長の札幌くらぶ村岡範男より申し上げます。

○村岡範男（札幌くらぶ事務局次長） 大変盛り上がっているところですが、時間が参りましたので、残念ながらこれでお開きしたいと思います。

本日は、地震の後にもかかわらず大変心配いたしましたけれども、こんなにたくさんの方に御参加いただきまして、本当に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

（拍手）

この後、ここ出たところで記念撮影がありますので、ぜひそれに御参加いただきたいと思いますし、二次会に御出席の方は下の一階のファーム・トゥ・テーブル・テラで二次会会場が用意されておりますので、お間違いないようよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。（拍手）



二 次 会

